

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	こども - 12 育成事業					☐ 法定受託事務	
所管課	こどもみらい部 青少年課				評価者	青少年課長 安富 誠人	
一般	会計	款	55	項	20	目	20
総合計画上の位置付け	分野名	青少年育成			施策の方針名	青少年の育成・支援	

1 事業の目的

対象	青少年等	意図	次世代を担う青少年一人ひとりの自立に向けた環境づくりを推進するため。
効果	青少年に多様な体験・活動の機会を提供し、地域を支える人材を育成する。 地域に青少年が集うことができる居場所や社会参画の機会・仕組みを提供する。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	青少年指導員の活動支援 二十歳のつどいの実施 中高生の居場所の管理・運営	青少年指導員の活動支援 二十歳のつどいの実施 中高生の居場所の管理・運営	青少年指導員の活動支援 二十歳のつどいの実施 中高生の居場所の管理・運営
予算額（千円）	24,606	28,957	
国県支出金	300	4,285	
地方債			
その他			
一般財源	24,306	24,672	0
当初人員配置数	7.5	6.5	0.0
人件費（千円）	42,560	35,349	0
事業実績	青少年指導員の活動支援 二十歳のつどいの実施 中高生の居場所の管理・運営		
決算額（千円）	14,165		
国県支出金	1,536		
地方債			
その他			
一般財源	12,629	0	0
人員配置実績数	7.5	0.0	0.0
人件費（千円）	41,417	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
活1	指標名	「COCORUかまくら」イベント実施回数	回	6	⇒	26		
	実績につながる活動	中高生の居場所「COCORUかまくら」においてイベントを開催した				784		
活2	指標名	二十歳のつどい参加者割合（参加者数／参加対象差数）	%	77.8	⇒	79.2		
	実績につながる活動	二十歳のつどいを開催した				2,874		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・次世代を担う青少年一人ひとりの自立に向けた環境づくりを推進するための取組が実施できている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果 指標No (最大3つ)
成1	COCORUかまくら年間利用者数	人	333	↗	1,233			1
成2	COCORUかまくら利用者の満足度	%	未実施	↗	未実施			1
成3	二十歳のつどい参加者満足度	%	未実施	↗	未実施			2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・鎌倉青少年会館内に中高生の居場所「COCORUかまくら」を令和6年11月にオープンした。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・成果指標No. 1について、令和7年度の年間利用者数は1,233人であった。イベント開催により利用促進が図られていると考える。成果指標No. 2、3について、令和8年度から成果指標の集計を予定しており、令和7年度実績はない。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	COCORUかまくらについて、令和6年11月のオープン以降、定期的なイベント開催等により利用者数の増加に寄与したと考えられる。

5 評価結果

評価	妥 当 性	事業に対するニーズ	☒ 増えている ☐ 変わらない ☐ 減少している		
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市 ☐ 国・県 ☒ 民間事業者 ☐ なし		
	有 効 性	事業の成果	☐ 十分に出ている ☒ 概ね出ている ☐ 出していない		
	効 率 性	事業費削減余地	☒ ある ☐ なし		
		関連・類似事業との統合	☐ できる ☒ できない		
	公 平 性	受益者負担	☐ 導入済 ☐ 導入予定 ☒ 導入できない		
		評価実施年度の方	⇒ 評価実施翌年度以降の方		
方向性	事業内容の方	☒ 事業内容は現状通り ☐ ① 事業内容は現状通りとする ☐ 事業内容は見直し済 ⇒ ☒ ② 事業内容は見直す → ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ 他事業と統合済 ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合			
	予算規模の方	☒ 予算規模は現状維持 ☒ ④ 予算規模は現状維持とする ☐ 予算規模は拡大済 ⇒ ☐ ⑤ 予算規模は拡大する ☐ 予算規模を縮小済 ☐ ⑥ 予算規模は縮小する			

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容
	前年度の新たな課題への対応結果		未解決	新たな市内の中高生の居場所について検討したが、設置には至らなかった。
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たな課題あり	引き続き、中高生の新たな居場所について、場だけでなく、相談等の機能も含めて創設する必要がある。
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新規事業の必要性あり	多種多様な中高生等の悩みや相談に対応できる環境を構築する必要がある。
	総評	日々変化し多種多様化する中高生の悩みや相談に対応できる居場所が必要であるが、限られた公共施設等の事情により、設置には至っておらず、引き続き、本市に適した居場所のあり方を考える必要がある。		
				上位施策への寄与度
				B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		本市では中高生の居場所としてCOCORUかまくらを設置している。他自治体においても児童館等の中高生が利用できる施設があるが、機能や目的が一致しない部分もあり、一概には比較が難しい。							